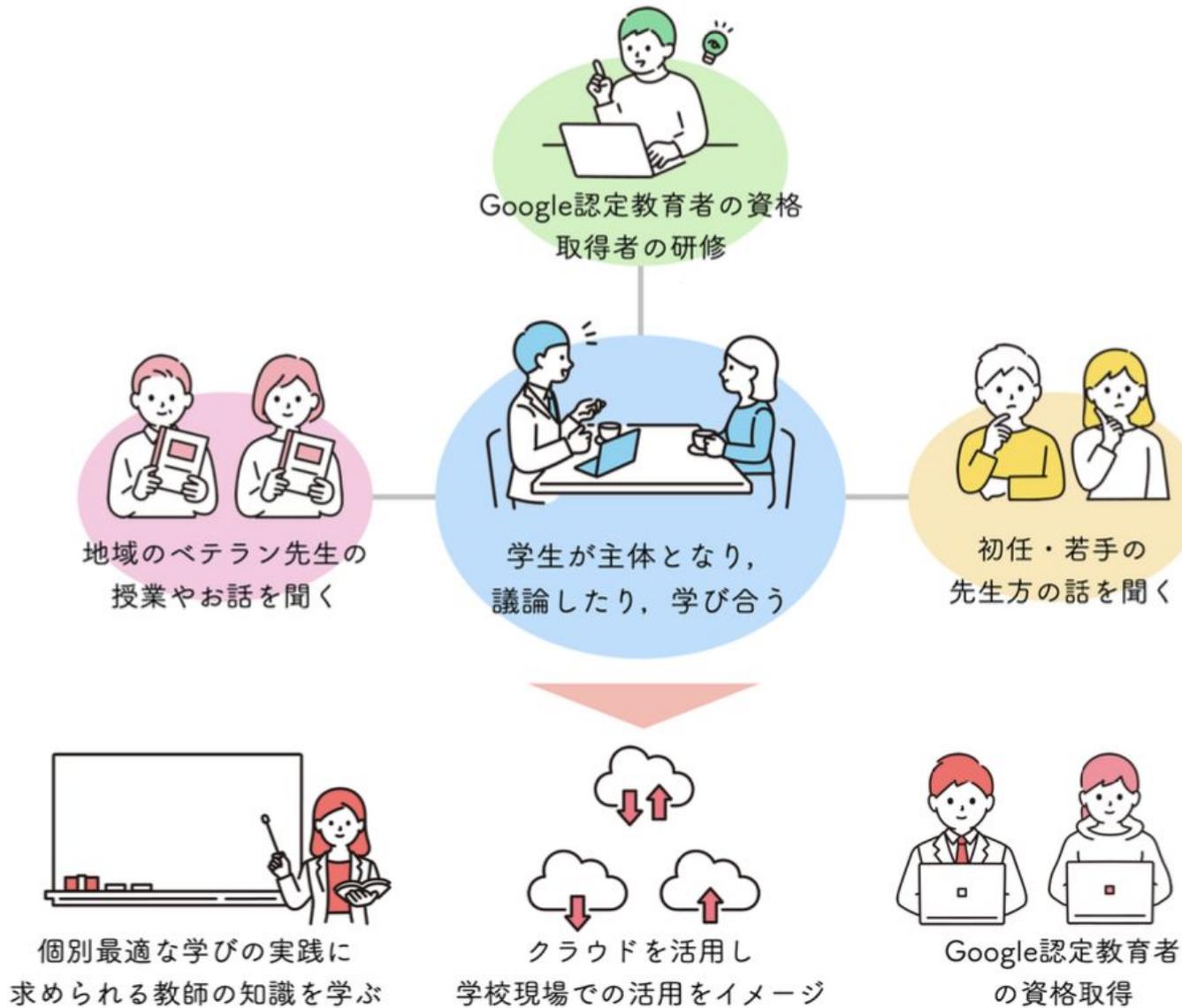


学生主体で学ぶ！令和の日本型教育に 求められる教員の資質・能力

GRS(若月 陸央, 南條 優, 堀内 蓮太郎)

顧問 佐藤 和紀先生

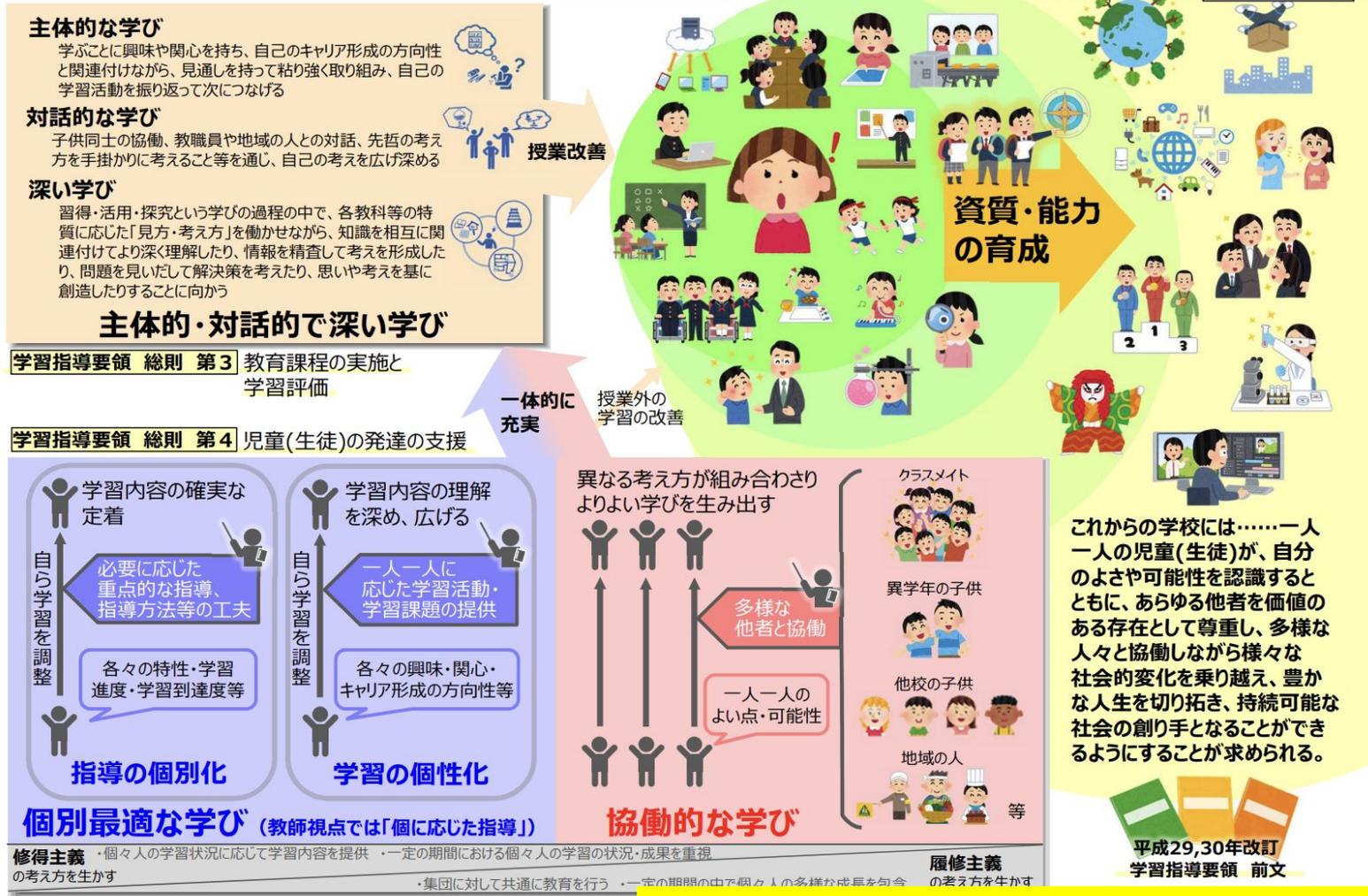


- 背景
- プロジェクトの目的
- 方法

- 背景
- プロジェクトの目的
- 方法

令和2年12月22日
教育課程部会
資料3-3

「令和の日本型学校教育」における学びのイメージ（たたき台）



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



文部科学省(2017)

学習の基盤となる資質・能力

言語能力

情報活用能力

問題発見・解決能力

学習の基盤として「情報活用能力」が位置付けられる

文部科学省(2017)小学校学習指導要領総則編.



教員のスキルアップの1つ
授業で情報端末などのICTを活用するスキルを証明するもの

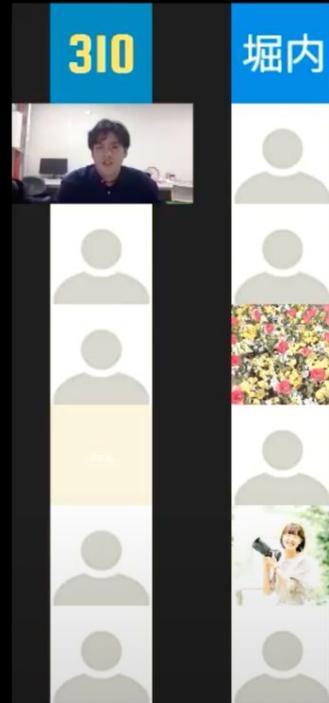
4. 事前に受け付けた質問に対して

Google認定教育者の試験は2構成それぞれ
オンラインか対面か、どちらでの試験でしょうか？

選択問題、実技問題どちらもオンラインでの試験です。

「3年間授業でGoogleのツールを使いこなすスキルがあることを証明できます」とのことですが、3年経ったら再度認定を取得し直す必要がありますか？

3年後、再度試験を受ける必要があります。



2021年度に学部生を対対象に説明会を実施
→多くの学生がGoogle認定教育者の資格を取得



初任・若手の先生

- いざ、情報端末などの ICT を活用しようとするとき、**場面に応じた活用方法が思いつかない**
- 情報端末などの ICT 活用する以前に、授業や学級経営などで何をやればいいのか分からない

etc...

実践的な学びが求められる

- 背景
- プロジェクトの目的
- 方法

学生が主体となり、様々な人の意見を取り入れながら、令和の日本型教育で求められる**授業**や、基盤となる**学級経営**などに関して議論し、その結果として教師に求められる**資質や能力を育む**ことのできる場所を作り出すこと。

- 背景
- プロジェクトの目的
- **方法**

学生が**ICTの活用法**や**学級経営**について学び、**現場の教員と共有**しながら、フィードバックなどを得るという形で、教育現場で直面する可能性のある課題に対する理解を深め、Google認定教育者の資格をはじめ、**具体的な**スキルや知識を身につける。





教員の方がどのようなことをするのが具体的に書かれていないように思えますが、計画を教えてください。

現場の先生との関わり(現時点)

- 現地へ行っての授業の参観
- 撮影した授業の参観
- 授業や学級経営に関わるディスカッション
- 若手の先生が感じていることを教えてもらう



教師の方々と協働して学ぶということについて、派遣申請、交通費、謝金支払いなどの手続きは必要ありませんか。

- ご指摘いただきありがとうございます。
- 派遣申請や交通費に関して、協力していただける先生や学校と確認を行いながら進める
- 現場の先生方の勤務を考慮して、ディスカッションについて、先生はオンラインで参加なども検討



本年度の計画や実践をふまえて、次年度以降の具体的な活動計画があれば教えてください。

- 運営メンバーにM1が所属
- 本年度の計画や実践をふまえて、活動内容を改善
- 来年度以降は、参加した学生を含め教員の輪を広げていくことを計画



ICTピアサポートルームにて月に1回程度と見込むワークショップとディスカッションについて、どのような具体的な内容や計画を立てていますか。

- 360° カメラで撮影した映像を見返しながらの授業に関わる協議
- 学習環境や授業設計，学級経営などに関わる議論
- 現場の先生との議論 など



360度映像でアクションを撮影，リフレーム可能な記録がもたらすと見込む効果についても説明してください。

南條ほか(2023)

様々なアングルで授業映像を視聴することで，**学習の個性化**
についてイメージを持つことができる事を示唆。

- 直接参観ができなくても，個の学びを見取ることができる。

事前にいただいた質問について



Google認定教育者の資格など具体的なスキルや知識を身につけるために、いつ、どのような内容のワークショップ等を開催する予定でしょうか。

時期)10月・12月

内容)Google 認定教育者の資格取得に関するワークショップを実施

スキル)授業参観やディスカッションの中で児童がICTを操作する姿から体験活動を行う



本プロジェクトの目的に対して、どのような観点で授業を観ようとしているのか教えていただきたい。

授業を以下のような観点で観ていきたいと考えております。

- 教師の指導・支援
- 児童の学習方法(学習形態や使用ツールなどを含め)
- 児童の学習内容
- 教室環境



その成果はどのように広めていくのか。

- SNS (Twitter, Instagramなど) を介した発信
- Educational Challenge 活動紹介のサイトでの発信